

令和6年度  
法務省啓発活動地方委託事業人権教育指導者研修  
会

誰一人取り残さない地域社会の創造  
～障がいのある人の人権～

障がいのある人の教育や福祉に携  
わらせていただいて

---

2024.12.5

社会福祉法人緑伸会

企画調整室長 村岡 章子

# 自己紹介

---

- 1959年4月12日生まれ 牡羊座 血液型はA型 札幌生まれ
- 保護犬のムギと暮らしている 娘二人は自立
- 約37年間道立、札幌市立の特別支援学校の教員を務めた（最後の3年間は校長も）
- 定年退職後今の社会福祉法人に再就職
- 北星学園大学大学院には45歳の時に入れていただき修士課程修了
- 趣味は温泉巡り、ドライブ、手抜き料理



# 勤めた特別支援学校

---

昭和58年スタート

- 北海道札幌盲学校幼稚部 教諭 (6か月)
- 北海道鷹栖養護学校小学部 教諭 (3年6か月)
- 札幌市立豊明高等養護学校 教諭 (10年)
- 札幌市立豊成養護学校高等部 教諭 (7年)
- 札幌市立北翔養護学校高等部 教諭 (3年)
- 札幌市立山の手養護学校小学部 教諭 (7年)
- 札幌市立北翔養護学校 教頭 (3年)
- 札幌豊明高等支援学校 校長 (3年) 令和2年3月 定年退職

# 定年退職後

---

- 社会福祉法人緑伸会へ入職

はじめの1年半～就労継続支援事業所B型の立ち上げ、運営

児童自立援助ホームの自立支援担当

法人内研修の企画立案 等

- 北海道教育大学、北星学園大学短期大学部、北海道医療大等で

時間講師

# 私の職場：社会福祉法人 緑伸会

---

- 法人としてはまだできて6年目の新しい法人です。（NPO法人含む）
- 保育園
- 障がい者支援
  - ①グループホーム・宿泊型自立訓練 ②生活介護③就労継続支援B型
  - ④ヘルパーステーション ⑤指定相談事業 ⑥委託相談事業
- 児童養護
  - ①自立援助ホーム

# 昭和から振り返って

---

- 養護学校の義務化 1979年（私が教師になったのは 1983年）
- 義務教育！すべての子どもに与えられたのは実はこの年
- それまでは、「就学猶予」「就学免除」で学校へ行けない子どもがいた  
⇒義務化後の養護学校は全道にもたくさんでき、障がいの重度化は否めなかった
- 高等部への進学率は20%程度  
それ以外の中学部卒後は、就職するか遠くの施設に入所するか  
ごく一部が、家から地域の作業所へ通所できる

# 障がい者支援の変遷 (ノーマライゼーションへ)

---

- ・2000年 介護保険制度（高齢者介護の社会化）
- ・2003年 支援費制度（障がい者サービスが契約へ）  
措置から契約へ 応益負担、「介護を買う」
- ・2006年 障害者自立支援法  
三障害を分けない
- ・2013年 障害者総合支援法  
地域社会での共生

# 法律は少しずつ・・・

---

- 法律の改正と共に障がい者を取りまく環境も変化している
- 障害のある人
- 障害のある人の家族

が生きやすくなってきているのでしょうか？

- 1 様々な情報が本人・家族に届いているか？
- 2 母「私が死ぬまでは何とかします。その先は？ ？ ？」

今でも少なからずそんな声が届きます



# 障がいのある人…では普通の人とは？

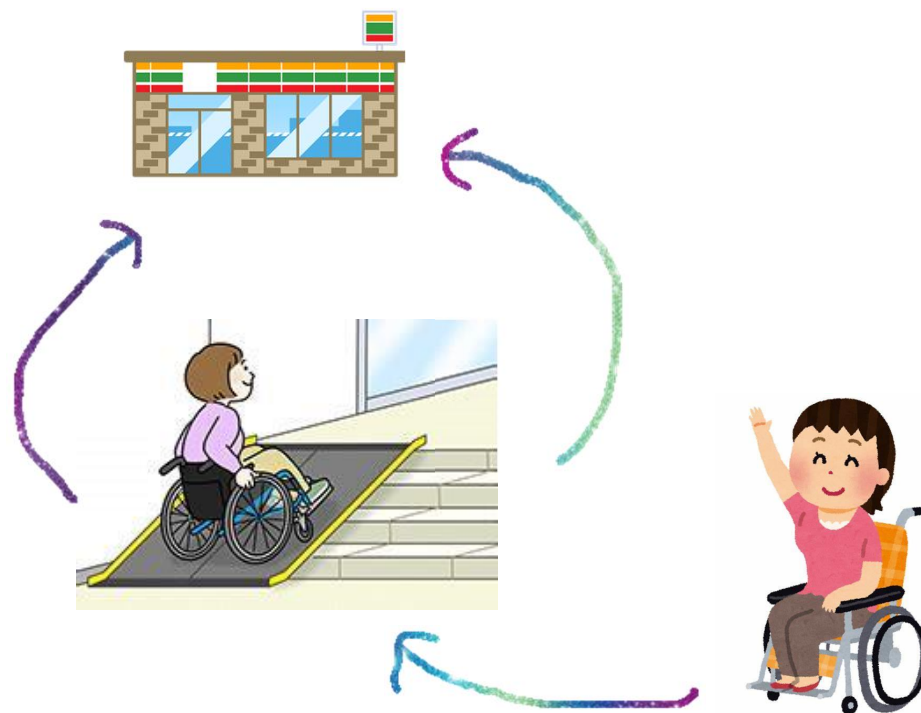
---

- 障がいがある
  - 頭が悪い、勉強が苦手、手足が不自由、目が見えない…
- 普通って？
  - 障がいの裏返しではないはず
- ICF（国際生活分類2001）の考え方
  - 障がいがあるからできないのか？
  - 社会構造ができなくしているのか？

# 例えば・・・

- 私は車いすユーザーです。
- 家からコンビニに行くためには緩い坂があり、上り初めには3段の階段があります。

⇒どうすれば自由にコンビニにいけるかな？



# 障がいがある人ができる！ために

---

- できないことを障がいのせいにするのではなく
  - どうやったら「できる」のか？
  - それでも難しい時にはどんな「支援」が必要なのか？
  - それを考えていくことがとても重要
- 
- 障がいのある人が暮らしやすい社会は、みんなが暮らしやすいはず  
バリアフリーからユニバーサルデザインへ

# 障がいがある人も共に地域で暮らす

---

- グループホームで暮らす
  - GHにもさまざまなバリエーションがある
  - ファミリー型 マンション型 等々
  - 食事付き 食事なし 金銭管理 外出同行・・・等々
- 一人暮らしに挑戦中～定期的にヘルパーさんや家族が支援
- 一人暮らしを継続中

# 事例1 ゴミを出そう！

札幌市

燃えるゴミ(有料)  
燃えないゴミ(有料)  
ビニール・プラスチックゴミ  
雑紙  
缶・ペットボトル  
乾電池  
スプレー缶  
加熱たばこ・ライター



# 事例2 洗濯をしよう！

---

- 毎日の下着や靴下OK！
- ハンカチはアイロンもかけたよ
- 寝具はどう？
- クリーニング屋さんに出すものはどれ？



# 事例3 友だちを呼ぼう～騒音

---

久しぶりに友だちが来るよ  
音楽大好き！  
バンドでギターの練習  
ノリノリでダンス  
ゲームで大バトル  
もう夜中だけど……



# 事例4 金銭管理・諸手続き

- 毎月収入と支出は大丈夫？
- 携帯の払い忘れ、ついつい課金・・・
- ア○ゾンなら、ピッとすればすぐ届く・・・
- 区役所から封筒が来てるけど何だろう？
- 面倒くさいな
- 現金だけではない、クレジットカード、携帯決算・・・



自己破産の道は意外とすぐやってきました。



# ちょっとしたお節介が命をつなぐ

---

本当にあったお話です

①寒くなったね、ストーブつけたかい？ 「うん」

⇒ストーブに煙突は付いていなかった・・・

②「先生、カードの会社の人にとっては親切です。困ったらいつでもお金をくれます」⇒すでに負債が30万円にも・・・

③携帯で請求書が届かないようにしたから、もう大丈夫

⇒請求書が来ない＝払わなくても良くなった ではない！

# ダメ！ 違う！ じゃなく・・・

---

- いけないことはダメ、違うを伝えなきゃ、また繰り返すよ
- 叱るときにはちゃんと伝えて、少し困ってもらわなきゃ  
と大人は思いがちです・・・間違っはいいないけど・・・
- 「ダメ」だけではなく、「こうしたらいいよ」「次の○曜日にもう一度やろう」
- など、**次の提案を伝えて承認**してもらうことが大事！
- ダメ！ だけではどうすればいいか解決策が見つからず、混乱し、時にはパニックになってしまいます。

# ほんの少しお節介に見守ってあげてください

---

- 出来ないだろうからやってあげるのは親切ではない
- 本人ができるようになる芽を摘んでいる
- だから「一緒にやってみない？」
- だめ！じゃなく、「こうすればいいよ」の優しい指示と受容
- 時にはそっと直して置くことも…プライドがある
- もちろん、何度も失敗する、「いい加減にして！」と言いたくなる
- 「いい加減にできれば」同じ失敗はしない
- 私も失敗する・・・彼らにも失敗する権利がある！

# ご静聴ありがとうございました。

---

地域の中で

障がいのある人もない人も

みんなで助け合える関係性ができて行ったらいいな

障がいのある人たちが

除雪ボランティアに来てくれた

公園清掃を毎月やってくれている

地震の時にマンションの上まで水を届けてくれた

できること、たくさんたのんでね！活躍するよ